

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 15日

宇都宮市長 佐藤 栄一

提出者 王子タック株式会社宇都宮工場
住 所 栃木県宇都宮市平出工業団地27-2
氏 名 取締役工場長 市川貴久
電話番号 028-661-5110

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	王子タック株式会社 宇都宮工場
事業場の所在地	栃木県宇都宮市平出工業団地27-2
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	紙・パルプ・紙加工製造業 {1449}
② 事業の規模	製造品出荷額 7,534百万円
③ 従業員数	146名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・別紙2の通り

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
・別紙3の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	・別紙1の通り	-
	排 出 量	-	-
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	・別紙1の通り	-
	排 出 量	-	-
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物分別の徹底 ・収集・運搬・処分業者とのコミュニケーション ・資材（包装紙・紙管）の再利用・有価物への転換 			
<ul style="list-style-type: none"> ・2023年は在庫削減の計画が有り、廃棄物量も減少の見込み ・生産効率を上げる ・引き続き産業廃棄物分別の徹底 			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラ・紙くず・木くず・廃液等区画を明確にし分別を図っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の分別の徹底実施を行うと共に各従業員における産業廃棄物に対しての意識向上・分別徹底の必要性について積極的に実施する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 - 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 - 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	-	-
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	-	-
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 - 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	・別紙1の通り	・別紙1の通り
	全処理委託量	-	-
	優良認定処理業者への処理委託量	-	-
	再生利用業者への処理委託量	-	-
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・分別実施継続中 ・収集運搬・処理業者現地視察実施中（各業者1回/2年） 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	・別紙1の通り	・別紙1の通り
	全処理委託量	-	-
	優良認定処理業者への 処理委託量	-	-
	再生利用業者への 処理委託量	-	-
	認定熱回収業者への 処理委託量	-	-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	-	-
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>・2023年度は生産量9%減の予定です。 それに伴い、廃棄量も減少。 廃棄物発生総量も9%減の見込みです。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	紙くず	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）
	排出量	1084.76t	186.11t	127.85t	1.30t	88.10t	0.00t	0.29t

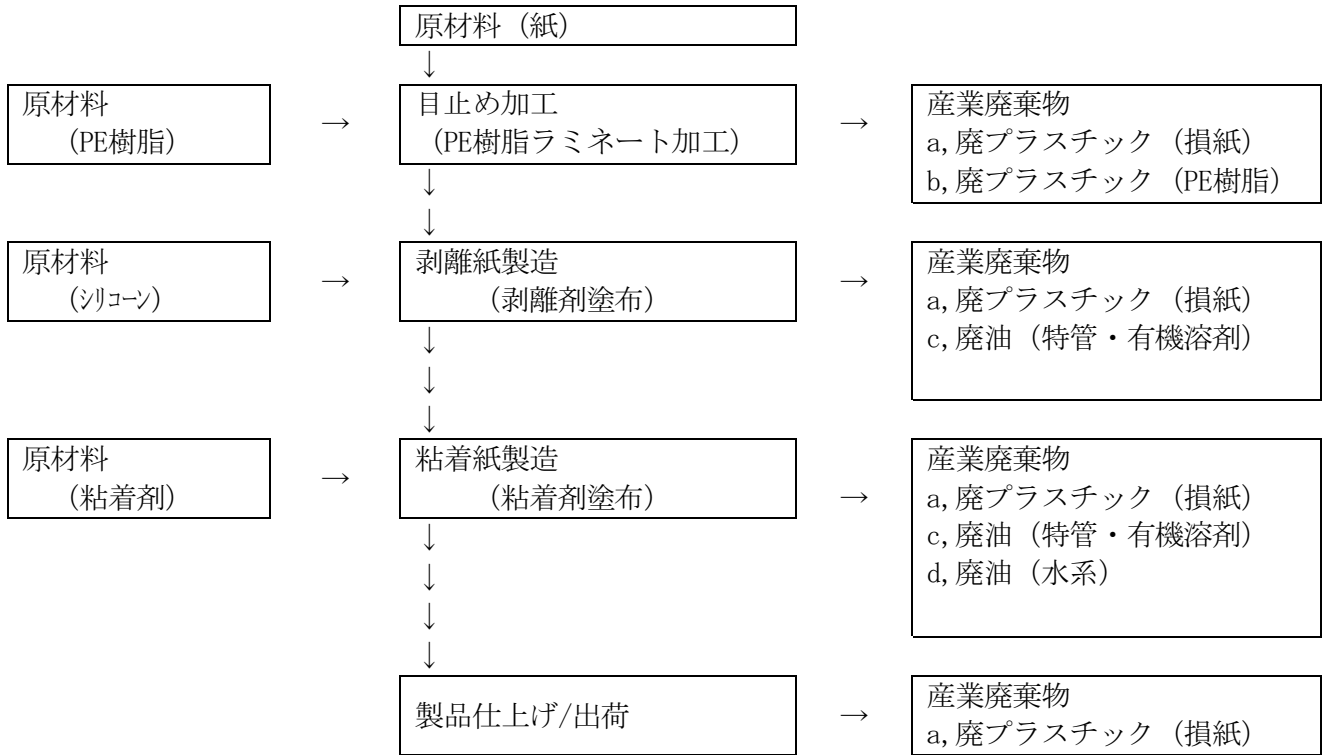
②計画	【2023年度目標】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	紙くず	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）
	排出量	987.13 t	169.36 t	116.34 t	1.18 t	80.17 t	0.00 t	0.26 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項(別紙)

①現状	【前年度（2022年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	紙くず	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）
	全処理委託量	1084.76t	186.11t	127.85t	1.30t	88.10t	0.00 t	0.29t
	優良認定処理業者への処理委託量	514.61t	94.22t	127.85t	1.30t	88.10t	0.00t	0.29t
	再生利用業者への処理委託量	1084.76t	94.22t	-	-	88.10t	-	0.29t
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	

②計画	【2023年度目標】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	紙くず	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥	水銀使用製品（蛍光灯）
	全処理委託量	987.13 t	169.36 t	116.34 t	1.18 t	80.17 t	0.00 t	0.26 t
	優良認定処理業者への処理委託量	468.30t	85.74t	116.34t	1.18t	80.17t	0.00t	0.26t
	再生利用業者への処理委託量	987.13t	85.74t	-	-	80.17t	-	0.26t
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	

別紙2



別紙 3

